

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録（画像検査結果、患者立脚型評価結果など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ（画像検査結果、患者立脚型評価結果など）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

3D-MRI 画像構築による軟骨、半月板定量評価を用いた膝関節治療前後の評価

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 整形外科

【研究責任者】 津田貴史（整形外科 医員）

【研究の目的】

自己多血小板血漿注入療法（Platelet Rich Plasma : PRP 療法）および高位脛骨骨切り術（High Tibial Osteotomy : HTO）は変形性膝関節症における治療法の選択肢として取り入れられています。治療前後における膝関節 MRI 検査は、病態把握および治療効果判定の補助診断として利用されますが、その位置付けは明確でないのが現状です。

本研究では、変形性膝関節症に対して PRP 療法及び HTO を予定される患者さんを対象に、3D-MRI による軟骨、半月板定量を用いて治療前後における評価を行い、それぞれの治療法を患者満足度の向上に繋げることを目的としています。

【研究の方法】

PRP 療法を予定される患者さんに対して、治療前、治療後 6 カ月の時点で膝関節 MRI 検査を施行いたします。HTO を予定される患者さんに対して、治療前および、術後 1~2 年でインプラント抜去後に膝関節 MRI 検査を施行いたします。

上記の画像情報に加え、性別、年齢、病名、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、治療状況等のカルテ情報を利用します。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者 愛媛大学医学部附属病院 整形外科 津田貴史>

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 整形外科

連絡先：愛媛大学医学部附属病院

責任者：津田 貴史

病棟 089-960-5797

791-0295 愛媛県東温市志津川